

平成29年度 6月補正予算（案）の概要

移住・人材確保と地産外商を 強力に推進！



健康サポートや
防災機能の強化



平成29年6月16日
高知県総務部財政課

1. 経済の活性化

243百万円
(債務負担行為額 12百万円)

■ 移住・人材確保施策と地産外商のさらなる強化

- ◆ 移住相談と中核人材確保の窓口を一体化し、人材ニーズの集約、発信、マッチングの支援を総合的に行う新組織を設立
- ◆ 「こうち産業振興基金（高知県産業振興センター 100億ファンド）」の運用期間終了に伴い、新たな基金を造成
- ◆ 宿毛湾港工業流通団地に立地する企業に対して、投資費用の一部を支援
- ◆ 畜産クラスターに位置付けられた地域の中心的な畜産飼養管理施設等の整備を支援

2. 日本一の健康長寿県づくり

4百万円

- ◆ 「高知家健康づくり支援薬局」の周知や機能充実による地域全体の健康サポート機能を強化

3. 教育の充実

7百万円

- ◆ 教員の多忙化解消に向けた学校現場における業務改善の研究を推進

4. 南海トラフ地震対策の抜本強化・加速化

76百万円

- ◆ 災害発生時等の迅速な対応を維持するため、消防防災ヘリコプター「りょうま」のエンジンを交換

5. 文化芸術の振興

13百万円

- ◆ 坂本龍馬直筆の貴重な書簡（慶応2年12月4日 坂本権平 家族一同宛）の購入

6. その他

43百万円

- ◆ 名誉高知県人ペギー葉山氏の追悼式典等の実施
- ◆ 牧野植物園のアクセス道路（避難路）整備

6月補正予算（案）の全体像

歳入

(単位 千円、%)

区分	平成29年度			前年度6月補正後 (D)	前年度6月比増減 (C-D)/(D)
	現計予算(A)	補正額(B)	計(A+B=C)		
(1) 一般財源	308,227,110	263,350	308,490,460	312,598,924	△ 1.3
県 税	65,908,135		65,908,135	65,424,531	0.7
地方消費税清算金	26,549,211		26,549,211	27,511,818	△ 3.5
地方譲与税	13,091,000		13,091,000	12,553,000	4.3
地方交付税等 ^(7+イ)	191,188,000		191,188,000	194,352,000	△ 1.6
（うち地方交付税）ア	(170,969,000)		(170,969,000)	(173,041,000)	(△ 1.2)
（うち臨時財政対策債）イ	(20,219,000)		(20,219,000)	(21,311,000)	(△ 5.1)
財調基金取崩	2,000,000	219,350	2,219,350	2,417,486	△ 8.2
その他	9,490,764	44,000	9,534,764	10,340,089	△ 7.8
(2) 特定財源	150,954,302	122,835	151,077,137	151,127,220	△ 0.0
国庫支出金	62,009,256	35,403	62,044,659	67,380,645	△ 7.9
県 債	48,143,000	28,000	48,171,000	46,159,000	4.4
（うち退職手当債）オ	(5,000,000)		(5,000,000)	(3,000,000)	66.7
減債基金 ^(ルール外) カ	7,560,202		7,560,202	8,833,031	△ 14.4
その他	33,241,844	59,432	33,301,276	28,754,544	15.8
総計 (1)+(2)	459,181,412	386,185	459,567,597	463,726,144	△ 0.9

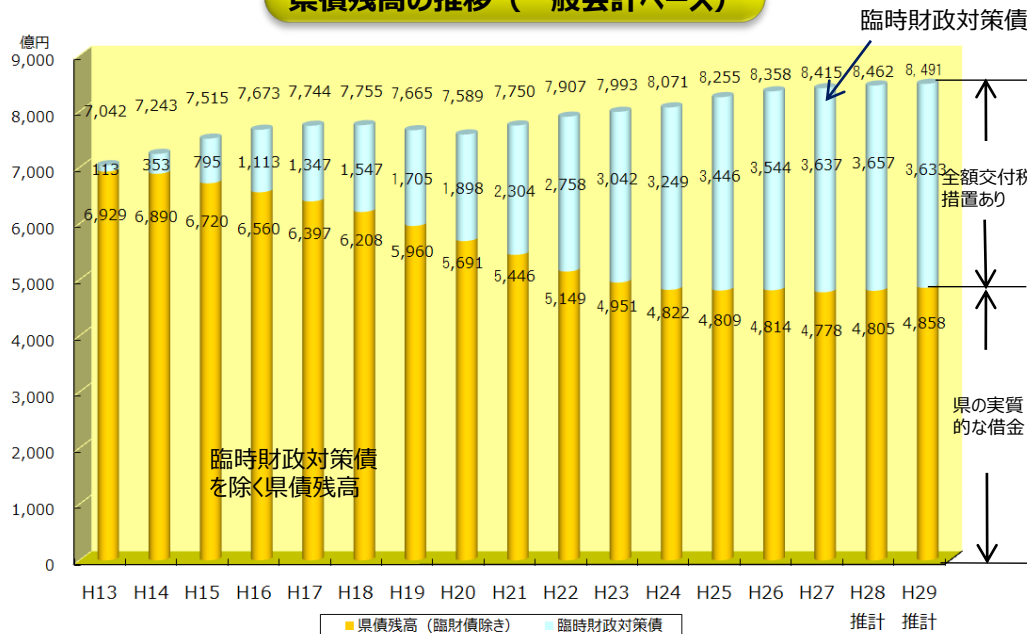
県債計 ^(イ+カ;再掲)	68,362,000	28,000	68,390,000	67,470,000	1.4
財源不足額 ^(7+イ+カ;再掲)	14,560,202	219,350	14,779,552	14,250,517	3.7

歳出

(単位 千円、%)

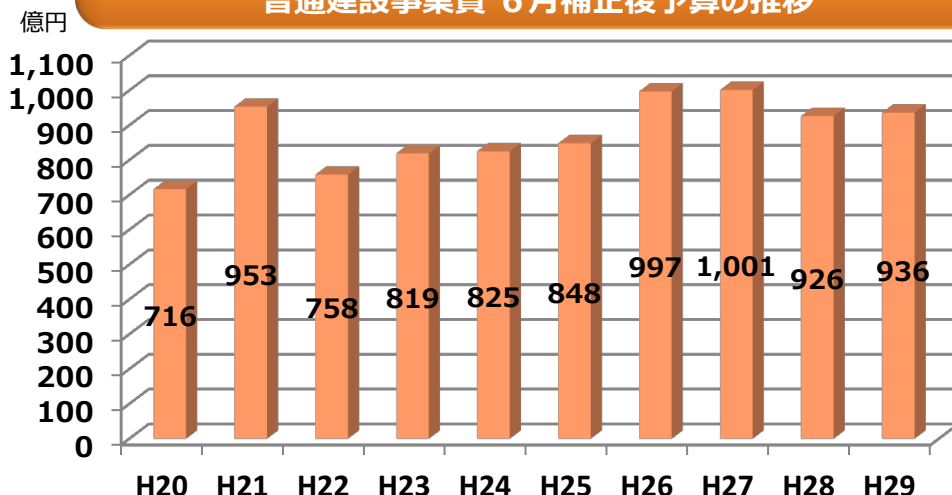
区分	平成29年度			前年度6月補正後 (D)	前年度6月比増減 (C-D)/(D)
	現計予算(A)	補正額(B)	計(A+B=C)		
(1) 経常的経費	361,019,941	306,024	361,325,965	359,253,543	0.6
人件費	116,750,882		116,750,882	118,882,381	△ 1.8
（うち退職手当を除く）	(103,494,854)		(103,494,854)	(105,133,383)	(△ 1.6)
扶助費	12,397,152		12,397,152	12,489,579	△ 0.7
公債費	73,456,904		73,456,904	70,068,584	4.8
その他	158,415,003	306,024	158,721,027	157,812,999	0.6
(2) 投資的経費	98,161,471	80,161	98,241,632	104,472,601	△ 6.0
普通建設事業費	93,565,694	80,161	93,645,855	100,851,011	△ 7.1
補助事業費	58,958,976	51,474	59,010,450	67,678,770	△ 12.8
単独事業費	34,606,718	28,687	34,635,405	33,172,241	4.4
災害復旧事業費	4,595,777		4,595,777	3,621,590	26.9
総計 (1)+(2)	459,181,412	386,185	459,567,597	463,726,144	△ 0.9

県債残高の推移（一般会計ベース）



※ 臨時財政対策債
本来地方交付税で措置されるべき額について、国の財政事情が厳しいことから、臨時的に地方債として配分されているもの。後年度、元利償還金の全額が地方交付税措置される。

普通建設事業費 6月補正後予算の推移



※H28については当初予算に見込んでいた全国防災事業（H27廃止）相当分83億円を除く

－ 主要な事業の概要 －

経済の活性化

- 移住促進・人材確保のための新たな一般社団法人設立について

- ・ 移住促進・人材確保のための体制強化について

P4

- ・ 移住促進・人材確保のための新たな組織（予定）

P5

- ・ 人材ニーズの顕在化から都市部人材とのマッチングまでのスキーム

P6

- 栲原町における肉用牛の一貫生産システムの強化

P7

文化芸術の振興

- 坂本龍馬直筆書簡の購入

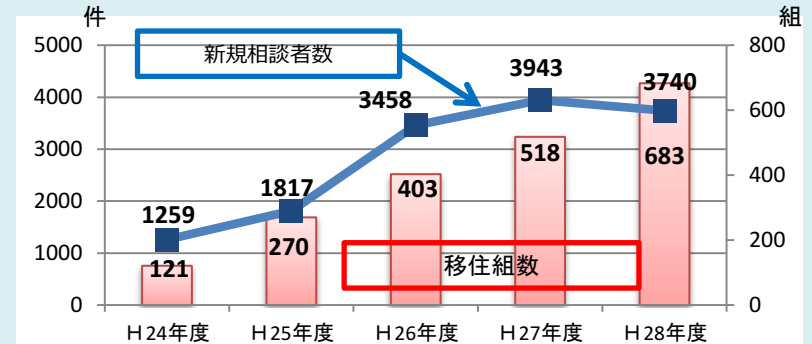
P8

現状

これまでの取り組み（抜粋）

- ①平成21年度から高知県への移住相談窓口として移住・交流コンシェルジュを全国に先駆けて配置
- ②平成25年度に県の移住促進策を抜本強化。市町村の移住専門相談員の配置やお試し滞在施設の整備に対する支援を強化し、受け入れ側の市町村の取り組みも大幅に拡大
 （移住専門相談員の配置（H29.3月時点 29市町村45人））
- ③「高知県移住推進協議会」を立ち上げ、官民協働の移住の取り組みを推進
- ④各産業分野の担い手確保策と移住促進策の緊密な連携により、県外での相談会から、県内での体験研修、就業マッチングまで支援
- ⑤平成27年度に、企業の後継者や中核人材の確保に取り組む「事業承継・人材確保センター」を設置（平成28年度には「UIターン就職相談」の窓口を同センターに統合）

成果（実績）



【コンシェルジュ数 ※（ ）は東京配置・内数】
4人 6人 9人（2人） 10人（3人） 10人（3人）

移住者数年間1,000組の達成とその定常化、地域地域に人材を更に呼び込むための課題と対応策

<予算案> 15,490千円
・移住・人材確保推進法人運営事業費補助金：129,601千円
・事務費等：6,404千円
・既存委託料の減額：▲120,515千円

課題

- 今以上に、地域に潜在している人材ニーズを掘り起こし、顕在化させていくための、体制強化（実働面でのマンパワー、関係者の協力等）が必要（※現状では任意の協議会組織にとどまる。）
- 各産業分野の仕事の情報を一元的に集約するとともに、暮らし全般の情報なども加えて効果的に発信し、マッチングまで繋げていくことが必要（※現状では各産業分野の求人情報は個々の窓口で把握し、必要に応じて連携している。また、就職と移住の相談窓口が異なっている。）
- 現場の経験やノウハウを個々のスタッフではなく組織として蓄積することが必要（※移住促進や人材確保を専門に展開する事業体がない。）

対応

移住促進・人材確保を担う新組織（一般社団法人）を官民協働により設立し、体制を大幅に強化

強化1

官民挙げて人材ニーズを掘り起こす体制を構築し、潜在的な人材ニーズを顕在化

⇒県のみならず、市町村や各産業分野の民間団体が、新組織の構成員として参画し、人材ニーズの掘り起こしと、タイムリーな情報提供を実施

強化2

人材ニーズを一元的に集約し、都市部人材に発信するとともに、希望に応じた多様な働き方や移住プランを提案

⇒各産業分野の人材ニーズをデータベースにより一元的に収集し、相談者の希望や経歴等に応じた求人情報を提案するとともに、複数の仕事の組み合わせや、「半農半X」といった働き方についても提案
⇒「移住相談業務」と「UIターン就職相談」「中核人材確保」の窓口を一体化し、「仕事」と「暮らし」の情報を併せて提供

強化3

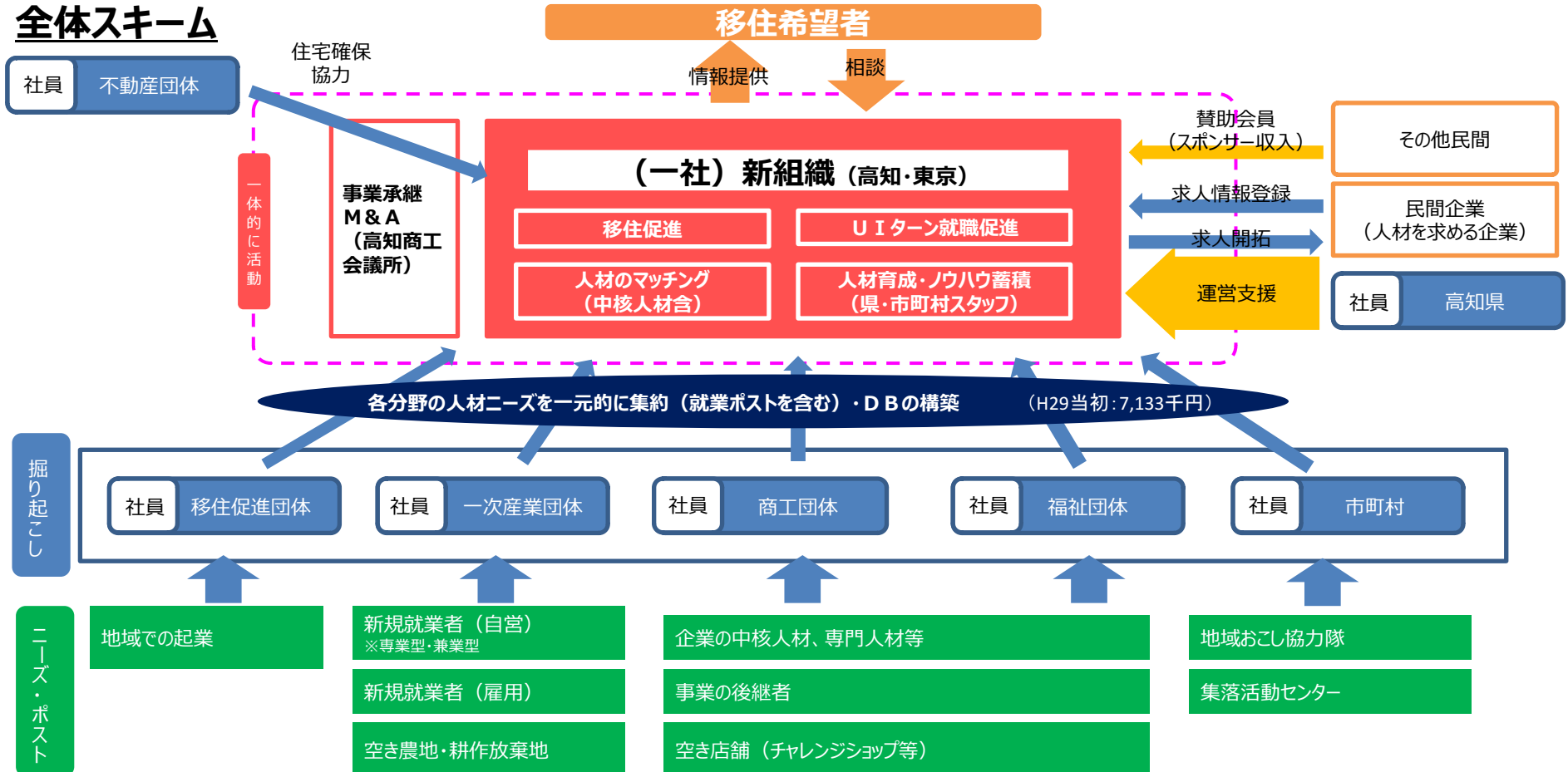
移住相談・人材確保を担うスタッフを育成

⇒スタッフや市町村の移住専門相談員を体系的なプログラムにより育成し、移住相談や人材確保に関するノウハウの蓄積や継続的なスキルアップを図る

目的	①県や市町村が「まち・ひと・しごと総合戦略」に掲げた人口ビジョンを達成していくため、これまで以上に移住促進や人材誘致に向けた施策を展開 ②移住や人材確保（マッチング）の促進に向けたノウハウの蓄積と専門スタッフの育成を行う
-----------	---

業務	<ul style="list-style-type: none"> 移住・就職相談 <ul style="list-style-type: none"> ●移住相談の総合窓口業務（高知・東京） ●県内へのUIターン就職の支援 人材マッチング <ul style="list-style-type: none"> ●各産業分野と連携した人材ニーズの集約とマッチング ●人材情報（求職）の収集 ●事業引継支援センター（商工会議所）と連携した後継者人材の確保 情報発信 <ul style="list-style-type: none"> ●移住や就職に関するHPの運営 ●集約した人材情報の提供 イベント運営 <ul style="list-style-type: none"> ●移住・就職イベントの実施 ●移住体験ツアーの実施 人材育成等 <ul style="list-style-type: none"> ●市町村の移住相談員の人材育成 ●民間の移住支援団体と連携した活動
-----------	---

全体スキーム



人材ニーズの顕在化から都市部人材とのマッチングまでのスキーム

《移住促進課、商工政策課》

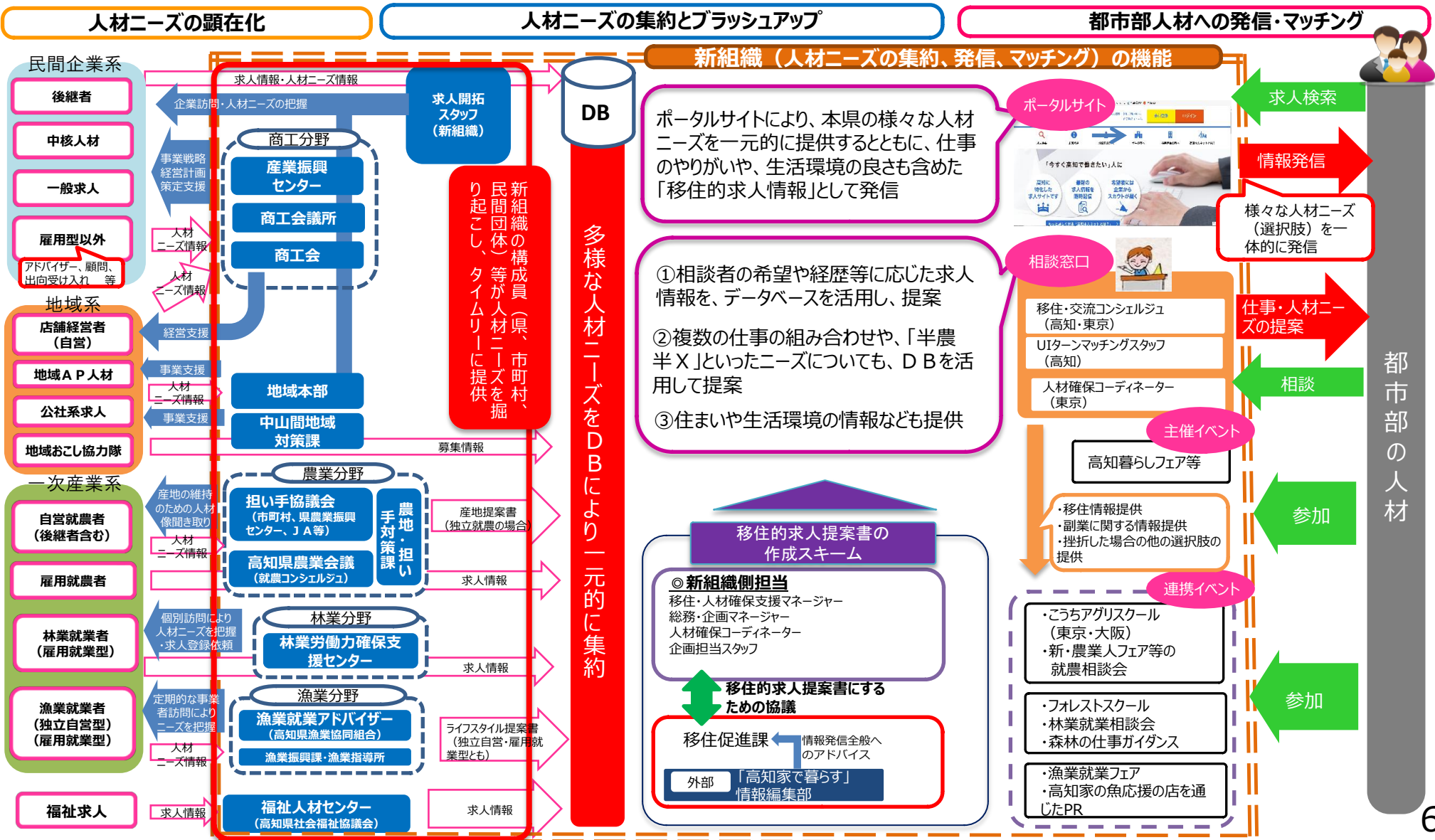
基本のステップ

新組織の構成員による人材ニーズの掘り出し（顕在化）

顕在化した人材ニーズをDBにより一元的に集約

仕事のやりがいや地域の良さ（自然、食、QOL）、受入側の「来てほしい！」という思いを加え、「移住的求人提案書」に

- ポータルサイトで一元的に発信（= 高知求人ネットの改修）
- 移住希望者に合わせた仕事や人材ニーズの提案



地域（梶原町）の取組

課題

- ・ J A 津野山と津野山畜産公社、生産者が役割分担し畜産振興
- ・ 一方で、生産者の高齢化（労働力不足）等の課題

対応

- ・ J A 津野山の畜産事業を公社に統合
- ・ 公社が中心となって畜産クラスター協議会を設立
- ・ 肉用牛の繁殖・肥育機能を公社に集約+規模拡大

↑ **新たな施設整備を実施**

高知県産業振興計画/肉用牛の生産基盤の強化

課題

- ・ 肉用牛農家の高齢化（労働力不足）
- ・ 担い手の不足
- ・ 肥育もと牛（子牛）の不足

対応

**【畜産競争力強化整備事業費補助金】
国事業（畜産クラスター事業）を活用し、
地域で行う生産基盤強化の取組に対し支援**

事業の概要

カルスト放牧場



種付受託
(CBS機能※)



繁殖牛飼育
(母牛)



※母牛の発情監視や受精を受託する繁殖牛受託施設

繁殖農家の
作業受託

統合

哺育牛舎
(キャトルステーション)



繁殖牛
飼育



肥育牛
飼育

J A 津野山の畜産事業

6月補正対応

新たな施設整備

- ・ 繁殖肥育牛舎（繁殖120頭規模）
- ・ 分娩牛舎
- ・ 哺育牛舎（キャトルステーション）
- ・ 管理棟（研修施設）等

梶原町畜産クラスター計画

梶原町の現状 (H28)

和牛 343頭



新たな施設整備(H29)

繁殖雌牛
肥育牛 増頭



梶原町の目標 (H33)

和牛 685頭
(H28比 +342頭)

高知県産業振興計画

県内の現状 (H28)

肉用牛 5,092頭
(うち和牛4,076頭)



戦略目標 (H31)

肉用牛 6,026頭
(うち和牛5,045頭)



長期目標 (H33)

和牛 5,568頭
(H28比+1,492頭)

県全体の和牛増頭目標の23%相当を梶原町で担う

【地域生産者との連携強化】

事業
効果



公社へ繁殖牛・子牛の預託（労働力軽減）
肥育もと牛の増頭
→所得向上、新規参入者確保へ

【雇用の創出／担い手育成】



公社での雇用の創出（7名）
研修生の受入れ
→地域の新たな担い手に

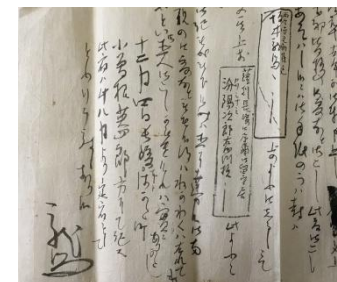
【土佐和牛出荷頭数の増】



梶原町全体での出荷目標頭数は236頭(H28比+131頭)
→186,000千円/年の販売額増加

購入の目的

- 県では、郷土の偉人である坂本龍馬の業績を後世に正しく伝え顕彰するため、関係資料の収集・研究・保存・展示等に取り組んでいるところ。
- 今回、龍馬の真筆であることが確認された書簡は、内容や保存状態などの面で学術的に高い価値を有するもの。3者による鑑定評価を実施し、その平均額を下回る適正な価格での購入が可能に。
- 購入後は、秋の行楽シーズンに合わせて高知城歴史博物館での展示を行うとともに、来年春には、リニューアルオープンする龍馬記念館で企画展を開催するなど、積極的に活用していく予定。



資料の概要

名 称：坂本龍馬書簡（慶応2年12月4日坂本権平 家族一同宛）

金 額：13,300千円

所有者：県外在住の個人

内 容

- ・激動の1年を振り返る内容であり、これまで記録(写本及び文書)でのみ知られていた史料価値が高い書簡の原本の一部(龍馬直筆)
- ・書簡全体の約4割(残りは行方不明)であるが、末尾に「龍馬」の記名あり
- ・表装していない送付したままの状態(現存約100通のうち表装なしは10通)
- ・12月4日は父・坂本八平の命日であり、同日付での書簡は他に2通ある
→姉乙女宛(京都国立博物館蔵、重要文化財)
兄権平宛(原本行方不明)

慶応2年(1866年)の主な出来事・・・薩長同盟成立、寺田屋事件、龍馬の新婚旅行、ワイルドエフ号遭難沈没、長幕戦争

審査プロセス・評価

高知県文化資料収集審査会

- ・県設置の専門家による審査会
- ・真贋の判定及び県に収蔵すべきか意見する
- ・今回の専門家：5名
大学関係者1名
博物館関係者3名
郷土史関係者1名

高知県文化資料収集審査会における意見

- ・慶応2年の総決算としての意味を持つ書簡であり、内容の資料価値は高い。
- ・これまでの記録との比較により記録の読みに相違点が見つかるなど今後の調査研究の進展が期待できる。
- ・姉乙女宛の書状(京都国立博物館蔵・重要文化財)と同日に書かれており、対比した展示が可能となる。
- ・表装をしておらず非常に数少ない龍馬が送付したままの状態が残る書簡であり、当時の状況を調査研究することができる。

資料の活用

坂本龍馬記念館における活用

展示公開

リニューアル後、最初の企画展「高知県内の龍馬の手紙(仮)」及び秋の特別展「龍馬展(仮)」において展示する。

調査研究

調査研究を進め、今後の展示内容を充実させる。



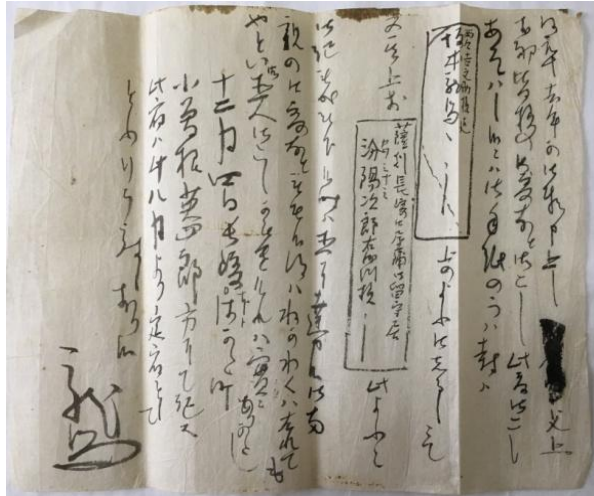
書簡の内容（激動の慶応2年を振り返る内容）

- 寺田屋事件について（伏見寺田屋で襲われた後、薩摩藩の吉井幸輔が京都から兵士を連れて伏見薩摩屋敷に龍馬を迎えに来る部分、京都の薩摩屋敷で小松帯刀・西郷吉之助と話をした様子、自分の手の傷の具合）
- 長幕戦争について（慶応2年夏～秋の長幕戦争の様子、土佐人上田宗虎の戦場での活躍）
- おやべ（春猪）の婿養子・坂本清次郎への気遣い（現在の戦争には長い刀はいらないという話など）

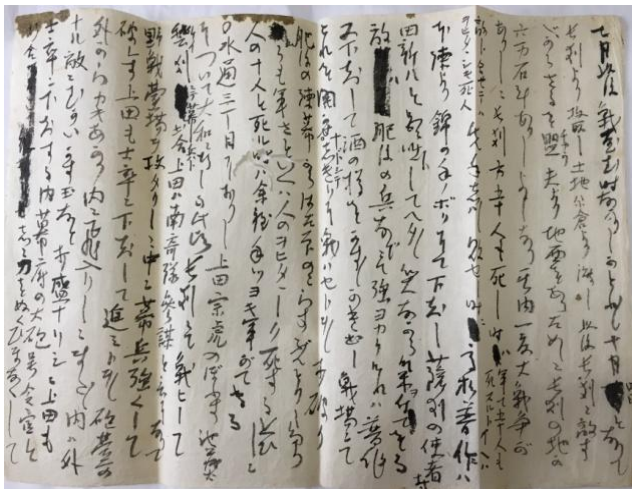
書簡のサイズ（縦×横cm）

○ 6枚の書簡

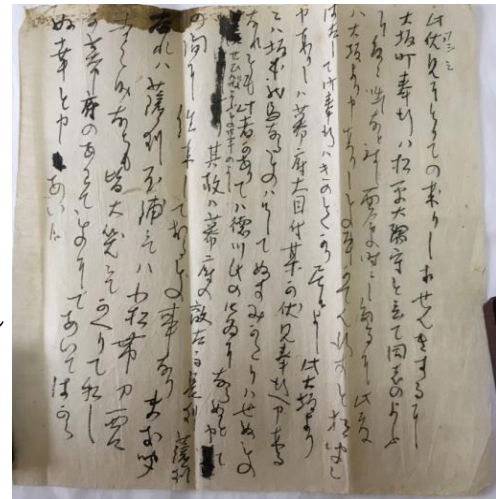
縦幅25.0cm×
横幅計191.2cm



六枚目



三枚目



一枚目

（略）この大坂からの坂本龍馬捕縛命令は幕府大目付の某から伏見奉行に申してきたことで、「坂本龍馬なるものは決して盗みや虚言はしない者ではあるが、この者がいては徳川家のためにならない。是非とも殺すよ」にこの指令だったようです。その理由は幕府の敵である長州と薩摩の間を往來しているからだとのこと。この話を聞いた薩摩屋敷の小松帯刀や西郷吉之助なども皆、大笑いいたし、かえって私が幕府のあわて者に出会うて、はからぬ幸いだ、と申しあつたこととです。

（略）この戦争の間に、一度大きな戦闘があり、長州側の兵士が五十人ほど討ち死にした際「いくさで味方が五十人も死ぬという時は、敵方もあわせるとおびただしい死人が出るものです」。長州軍の先鋒がしばしば敗れるような苦境でしたが、指揮官の高杉晋作は本陣から錦のぼり旗を振つて指示を出し、薩摩藩の使者村田新八と色々雑談し、ヘタヘタと笑いながら敵の動きに気をつけていました。敵方は肥後藩兵ということになかなか手ごわい相手でしたが、高杉は酒樽を数々運ばせて、戦場にてこれを開けて兵士たちに飲ませるなど、しきりに戦意を高揚させ、とうとう敵兵を打ち破り、肥後軍の陣幕や旗印などを残らず分捕つてしまいました。（略）

一、何卒、去年お願いした父上をはじめ、皆さまの御歌などを長崎までお送りいただきたく思います。あて名と住所は右のとおりお記下さい。

西郷吉之助様近
坂本龍馬様……

またその上の封紙には

薩州長崎御屋敷御留守居

汾陽次郎左衛門様……

右、長い手紙は十二月四日、長崎本博多町小曾根英四郎方で記しました。この宿は八月から定宿として滞在していたしております。

龍馬

1 経済の活性化

NEW

「こうち産業振興基金（100億ファンド）」の運用期間
終了に伴う新基金の造成 **45,000**
【特別会計】**16,888,000**

平成19年度に造成した「こうち産業振興基金」の運用期間終了に伴い、高知県産業振興センターに新たな基金を造成する。

【一般会計】

(1)特別会計繰出金 45,000千円

【中小企業近代化資金助成事業特別会計】

(1)地域中小企業応援ファンド事業費償還金 8,395,000千円

内容：平成19年度貸付金への償還金

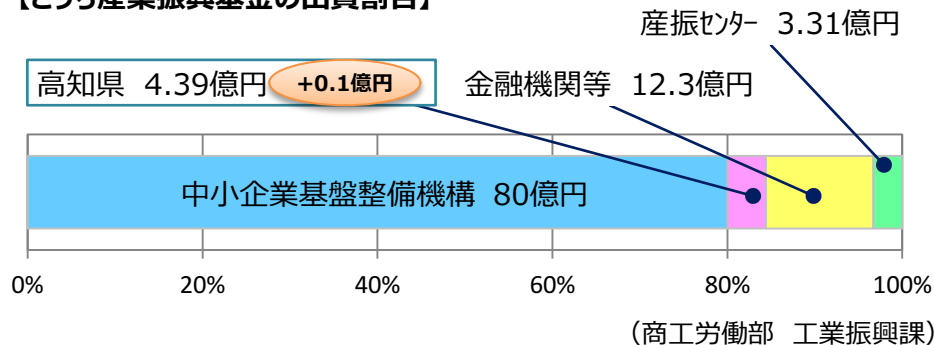
(2)一般会計繰出金 44,000千円

(3)地域中小企業応援ファンド事業費貸付金 8,449,000千円

内容：産業振興センターにおける新たな「こうち産業振興基金」の造成に係る貸付金

貸付先：（公財）高知県産業振興センター

【こうち産業振興基金の出資割合】



NEW

若者の技能検定受検への支援 **1,756**
(高知県職業能力開発協会補助金)

国が平成29年度後期から若者（35歳未満）の技能検定受検料の減免を支援することとなったことを受け、高知県において技能検定を実施する職業能力開発協会が減免措置を講じた場合の減収分を支援する。

補助先：高知県職業能力開発協会

補助率：定額



(商工労働部 雇用労働政策課)

NEW

原木増産に向けた森林資源情報の精度向上への支援
(原木増産推進事業費補助金) **8,106**

林野庁の「林業成長産業化地域創出モデル事業」に高吾北地域が選定されたことを受け、森林資源量や地形情報等のデータ整備を支援し、原木増産につなげる。

林業成長産業化地域創出支援

補助先：市町村等

補助率：定額



(林業振興・環境部 木材増産推進課)

NEW

宿毛湾港工業流通団地への企業立地を 支援 121,335【債務負担】12,000 【特別会計】122,000

宿毛湾港工業流通団地に立地する企業に対して、投資費用の一部を支援する。

【一般会計】

宿毛湾港工業流通団地企業立地促進事業費補助金 121,335千円
【債務負担】 12,000千円

補助先：企業立地促進要綱に基づく指定企業
(新たに水産物加工施設(マダイを主とした鮮魚の一次加工施設)を立地しようとする県内企業への補助)

補助率：①用地取得事業 2/3
②施設等整備事業 1/5
③新規雇用促進事業(新規雇用者@100万円)

【港湾整備事業特別会計】

地方債元利償還金 122,000千円

内容：宿毛湾港工業流通団地分譲による土地売払収入を財源として、地方債の繰上償還を実施

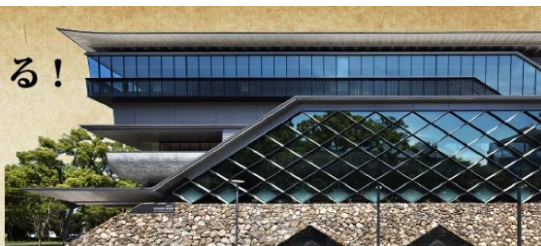
(土木部 港湾振興課、港湾・海岸課)

土佐から日本が、見えてくる!

高知県立

高知城歴史博物館

Kochi Castle Museum of History



2 日本一の健康長寿県づくり

拡

「高知家健康づくり支援薬局」の取組の拡充 4,035

「高知家健康づくり支援薬局」における健康相談等の取組を周知し、県民が気軽に健康相談できる環境を整備するとともに、在宅医療への薬局の参画を推進する。

- (1)健康情報拠点整備事業委託料 3,282千円
委託内容：高知家健康づくり支援薬局の広報、あったかふれあいセンター等でのお薬・健康相談会の実施等
委託先：(公社)高知県薬剤師会
委託方法：随意契約

(2)事務費 753千円

(健康政策部 医事業務課)



3 教育の充実

NEW

教員の多忙化解消に向けた学校現場における 業務改善の推進 6,963

教員が子どもたちと向き合う時間を確保するため、国のモデル事業を活用して教員の業務の見直し等の対策を推進する。

- (1)教員業務改善研究委託料 5,568千円
委託内容：校務支援員を高知市内の3中学校に配置し、学校現場における業務改善の取組の研究等を実施
委託先：高知市
委託方法：随意契約

(2)事務費 1,395千円

(教育委員会 教職員・福利課)

4 南海トラフ地震対策の抜本強化・加速化

NEW 消防防災ヘリコプター「りょうま」のエンジン交換 76,111

災害発生時の迅速な対応を維持するため、現在運航を休止している消防防災ヘリコプター「りょうま」のエンジン交換を実施する。

需用費（修繕料）



（危機管理部 消防政策課）

5 その他

拡

県・高知市病院企業団の情報セキュリティ対策 5,327

「高知県情報セキュリティクラウド」に県・高知市病院企業団が参加するために必要なシステム改修及び運用保守委託を実施する。

(1)情報セキュリティクラウド改修委託料 4,387千円

委託先：（株）高知電子計算センター

委託方法：随意契約

(2)情報セキュリティクラウド運用委託料 940千円

委託先：（株）高知電子計算センター

委託方法：随意契約

（総務部 情報政策課）

NEW

名誉高知県人追悼式典等の実施 8,955

名誉高知県人であるペギー・葉山氏のご逝去に伴い、故人を偲び追悼式典等を実施する。

追悼式典実施委託料

委託先：未定

委託方法：随意契約（公募型プロポーザル方式）

開催時期：平成29年秋以降予定

（観光振興部 観光政策課）

NEW

牧野植物園造成工事等とあわせてアクセス道路の整備 28,333

平成30年度秋のオープンを予定しているファミリー園（仮称）等の造成工事とあわせて、歩道等としても活用可能なアクセス道路を整備する。

アクセス道路工事請負費

契約先：土木事業者

契約方法：指名競争入札



（林業振興・環境部 環境共生課）



第一幕：平成29年3月4日（土）～平成30年3月31日（土）（予定）

第二幕：平成30年4月1日（日）～平成31年3月31日（日）（予定）